

市民の命を守る政治を！市民派無所属
府中市議会議員／会派 市民の風

ゆうきりょう

市政
通信



毎日ブログ更新中

ゆうきりょう

電話 090-4136-7642



この冬予想される新型コロナ感染拡大の第6波に備え、府中市にも自宅療養者の支援策を求めたい

コロナ感染の自宅療養者を医療機関につなぐ役割の支援室設置を

この年末から冬にかけ新型コロナ感染拡大の第6波が予想されています。私は8月16日付で高野市長あてに、市独自の新型コロナ感染の自宅療養者向け相談室の開設を求めましたが、隣の国立市ではすでに「自宅療養支援室」を開設しています。朝日新聞の「asacoco」9月2日付によると「8月24日時点、国立市内の自宅療養数は120人以上、この方々への食料支援や生活物資支援、パルスオキシメーターの貸し出し、タブレットを使用したオンライン相談、保健所との調整、市内の『かかりつけ医』、医師会の医療機関による診察調整などを行っている」とし、対応時間中は「電話は途切れることなくなっている」とのことです。

「医師とつながれたことで安心した」（自宅療養者の声）

記事では相談者から「医師とつながることで安心した」という声が多いとし、国立市の支援室長の方は「自宅にひとりで心細かったと思います。きめ細やかな電話相談などを通じて、自宅療養者の孤立と重症化を防ぐためのサポートをしたい」「日ごろから国立市では介護と医療の連携に心がけ」ており、国立市の水見市長は「市内の医療関係者に知恵を借りながら支援室を作ることができた」と記事で語っています。

今府中市にも必要なのが、国立市のようにコロナ感染の自宅療養者を個々の医師、医療機関につなぐ、具体的な相談支援態勢の確立です。私はこうした自宅療養支援策について、6月議会でも取り上げましたが、再度12月議会でも一般質問する予定です。

府中市の新型コロナ感染の自宅療養者の情報は・・東京都が多摩地域の市町村に情報提供を実施へ

9月の都議会において、東京都が新型コロナ感染者の自宅療養者の情報について、「多摩地域の市町村の自宅療養者の情報を提供する」と答弁がありました。コロナ感染拡大の第5波において、府中市内でも新型コロナ感染の自宅療養者から、東京都からの支援サービスである食料品の提供について「自宅に届かない」といった苦情が市役所に多数寄せられたと聞きます。東京都はこうした事態をうけて、今後、自宅療養者の個人情報をも市町村に提供することを決めました。

朝日新聞多摩版の記事によると東京都は、「自宅療養者の健康管理を充実させる目的であれば、個人情報を提供できると判断」とし、「個人情報にも十分留意しながら、早急に情報提供を図る」としています。この記事では府中市の担当者の声として「食料などを自宅に届ける支援をスムーズに行えるようになる」と指摘。今回の東京都の措置を効果的にいかすために、今後は自宅療養者を個々の医療機関、医師との連携につなげる施策について、市に要望したいと考えています。



府中市の小中学校におけるオンライン授業態勢の確立へ・・府中市教育委員会が方針

コロナ 感染拡大防止にむけ、オンライン授業態勢と分散登校の実施へ

府中市の教育委員会は9月15日付で、今後、新型コロナウイルス感染拡大による小中学校の学級閉鎖という事態も予想し、①タブレット端末を活用したオンライン学習の実施、および②オンラインを活用した分散登校の方針を打ち出しました。

教育委員会によると、①タブレット端末の基本操作等に関する学習の実施、②児童・生徒が Google Meet を使えるように各学級で学習等を実施し、児童・生徒の基本スキルを確認する。③教師がタブレット端末を使って児童・生徒へ指示や、画面の共有ができるように校内研修や授業、日常業務の機会に実践して確認する。④9月中旬にオンライン接続の試行、タブレット端末を活用、学校・家庭間をオンラインで接続し授業などを実施する。⑤分散登校や学級閉鎖などの実施時の予行及び課題等の確立をすすめています。また通信環境のない家庭には、モバイルルーターの貸出しをしています。

文科省 通知により府中市も急遽、オンライン授業実施へむけ方針を転換

文部科学省は9月初旬「新型コロナウイルス感染拡大や、自然災害などの影響で、やむを得ず学校に登校できない児童生徒への『1人1台のタブレット端末』などのICTを活用した学習指導に関する」通知を全国の都道府県教育委員会あてに発出していました。

新型コロナウイルス感染拡大時における、オンライン授業実施の要望については、教育委員会あてに多くの保護者の方々から要望があがっており、私も府中市の教育委員会あてに緊急要望書を提出していました。今後はその運用改善について随時要望していきます。

あつかいを間違えると、いじめの温床にもなるタブレット端末

タブレットの扱いは問題があります。私の子どもの担任は始めてタブレットを配ったときに『クラス内でお互いをカメラで取り合おう』と指示をしたが、息子の弱点をとった生徒がいて、息子は泣いて帰ってきました。先生が生徒同士のトラブルを引き起こす原因にもなりかねません。（保護者の声より）



朝の駅頭市政報告について

私の朝の駅頭あいさつについて、原則、毎朝下記の予定で行っています。駅頭では「市政通信」を配布しています。市政相談、生活相談なども受け付けています。なお雨天時や、自身の都合により中止の場合もあります。お気軽にお声をおかけください。（朝8時まで）

月曜日・西武線多摩駅東口 火曜日・予備日 水曜日・京王線東府中駅北口
木曜日・西武線多摩駅西口 金曜日・京王線多摩霊園駅

ゆうきりょうに市政などへのご意見、ご要望、苦情などお寄せください。
アドレス yuki4551@ozzio.jp 電話 090-4136-7642 住所 府中市紅葉丘2-6-3 メイプルタウン吉野D202

※電話の場合は、留守電にコメントを入れてください（電話にでられない場合があります）。

※ゆうきりょうはブログを毎日更新していますので、ぜひご覧ください。
「ホームページ検索→ゆうきりょう」

ゆうきりょう

ゆうきりょうの議会論戦

要介護者と家族にとって、納得と公平感のある介護認定のあり方を市に求める（9月議会一般質問）

「身体能力は悪化しているが、要介護認定が4から3になった」など、介護認定結果に疑問のご意見を、市民の方から複数伺いました。そこで私は介護認定の判定と、府中市独自の介護支援策のあり方について取り上げました。

◇ゆうき質問⇒「介護度認定の調査時において、要介護者の実態を一番把握しているケアマネージャーを同席させ意見を聞くよう、市は指導徹底すべきだ」

★市の答弁⇒「ケアマネの同席はできないが、画一的な調査で終わらないよう、正確な状態を把握できるように、認定調査員の質の向上をめざす」

◇ゆうき質問⇒「要介護者にむけに独自の相談窓口を設置し、要介護者、ご家族の方に対し行政からの丁寧なフォローアップを要望したい」

★市の答弁⇒「現状組織のなかで市民へのフォローアップができるよう、相談対応能力の向上に努める」

市独自の介護支援独自給付事業について、「要介護者の生活実態に即した給付サービスをするべき」

◇ゆうき質問⇒私が話を伺った要介護度2の方は、車イス生活でご家族の介助がなければ日常生活がおくれない方でした。市の答弁にあるように、「要介護3とは、排泄や入浴などの日常生活全般で、介護が必要な状態にあるものと解される」とあるが、まさにそういう方であり、要介護3から要介

護2に認定判定された。そこで要介護者の生活実態を考慮し、市独自の介護支援独自給付事業については、その介護実態に即して、独自給付サービスをするべきだ」。

★市の答弁⇒「要介護度2以下の方でも、身体状況が認定調査時と変わり、『寝たきり高齢者』に該当するような状態にある場合には、介護認定の『区分変更』の手続きをご案内するなど、適切な制度利用につながるよう対応する」

◇ゆうき主張⇒要介護度が3から2になれば、特養ホームには入所できず、「おむつも必要なくなった」と判断され、市からの「高齢者おむつ助成事業」が受けられなくなる。しかし要介護3から2に変更された方でも、オムツの必要な方がいるし、要介護2でも車いす生活で「高齢者車椅子タクシー事業」のサービスが必要な方もいる。

市の介護認定結果に、泣き寝入りされている方が多くいるはず。その判定については、機械的取り扱いをせずに、現場の声をリアルに反映した、納得と公平感のある介護認定となるよう強く求めたい、

府中市が市内小学校 通学路の実態調査を実施へ・八街市の通学路の事故を教訓に、全小学校に指定通学路を対象

千葉県八街市の小学生の通学路で発生した自動車事故で5名の死傷者が発生するという痛ましい事故がありました。この事故を教訓に府中市では、市内の通学路の安全確保のために、市内全小学校における指定通学路の実態調査を行うために、市の財源で859万円を補正予算で計上しました。

平成25年度も市内通学路の安全調査をするが改善進まず

実は府中市もすでに平成25年8月に市内小学校の通学路の調査の結果を公表しており、各校の点検箇所と危険な内容について具体的に指摘

をしていますが、その後の改善策の実施については、十分ではなかったようです。私の近所でも人見街道、また多磨町の道路でもいくつか危険な箇所が指摘されていますが、今回はぜひ安全策の徹底について予算要望書でも求めたいと思います。



府中駅周辺の駐輪施設、市内歩道脇の植物剪定のあり方に異議あり(市民からの予算要望の意見)

市民のみなさんから来年度の予算要望に対するご意見から、街づくりに関するご要望をいただきましたので、以下紹介させていただきます。(匿名希望)

府中駅周辺の駐輪場の改善について・高齢女性にとって持ち上げるのが大変な、機械式駐輪場



ご存じのとおり府中市は高齢者や子連れで買い物に来る人が多いですが、以前は、けやき並木の歩道に「ちょこりんスポット」がありましたが、現在は機械式駐輪に代わっています。

しかし、この機械式は前輪を持ち上げなければなりません。多くの高齢の女性には持ち上げるのが大変です。買い物が前輪側にある場合はなおさらです。また、子連れの人は多くが電動自転車重量があり、持ち上げるの

に苦労している人を良く見かけます。ぜひ従来のように平地に置ける駐輪場を再開するよう強く要望します。

市内歩道脇に植えられている植物の剪定について

2つめは、市内の歩道脇に植えられている植物の剪定について、きちんと行われていないことです。この件についても私は、何回かメールや直接役所に行って剪定の管理を要望した経緯がありますが、歩道は子供や自転車なども多く利用するにもかかわらず、植物のツルが伸びており子供の目線あたりに当たります。また自転車にもあたりよけたりする人もおり。狭い歩道なので大変危険です。きれいな街づくりを謳う一方このような杜撰な管理は改善してもらいたいです。(市民の方からの要望より)



基地留保地にある米軍の通信施設が、日本政府に返還へ



浅間町の基地留保地内にある在日アメリカ軍管理の通信施設が、9月30日付で日本政府に返還されました。この通信施設は、1.7ヘクタール、高さ100メートル余りの鉄塔があり、府中市は施設周辺の約15ヘクタールの利用計画として、総合体育館や小中学校などの公共施設の整備、商業施設、低層住宅地などの開発計画を政府に提出しています。今後はこの土地活用含め、開発計画の修正について、市も議会で答弁しています。



府中市議会議員 ゆうきりょう(結城 亮) プロフィール

昭和45年(1970年)5月11日生、横浜市青葉区出身、大東文化大学法学部卒、東京土建組合府中国立支部事務局などの仕事を経て、2015年4月から府中市議会議員(現在、2期目)。所属する委員会は現在、文教委員会、市庁舎対策特別委員会。現在は無所属で一人会派「市民の風」に所属。